整理No.	58

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	411-01	基本施策	魅力ある教育の推進	所管部局	こども未来部
施　策　名	幼児教育の充実			主担当課	保育課
				関係部局課	教育委員会学校教育課
施策の目標	幼稚園・保育所・小学校の連携や交流の促進など幼児教育の充実により、人間形成の基礎となる豊かな心と社会性の育成を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
乳幼児期は、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であるとともに、子どもの発達は、乳幼児期から学童期へと連続性を有するものであることから、発達に応じた適切な保護者の関わりに加えて、質の高い教育・保育の安定的な提供を通じて、その間の子どもの健やかな発達を保障していくことが求められている。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
幼稚園、保育所、認定こども園の就園率	%	97	96	96				97
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
３～５歳の幼稚園、保育所、認定こども園入所者数÷３～５歳の児童数×100	障害児施設及び児童養護施設等への通所児がいることから、基準値の就園率の維持を目指すもの。							

	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							

25年度の取組内容実績	・長野市幼保小連携会議を開催するとともに、関係職員が幼稚園・保育所と小学校に相互に参観、交流をするなどして、必要な情報共有・意見交換に努めた。 ・幼稚園等に子どもを通園させている保護者の所得の多寡に応じて補助金を交付し、経済的な負担軽減を図ることにより、幼稚園等への就園を促進した。 ・通常の教育標準時間を超えて預かり保育を実施している幼稚園に対して補助金を交付した。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	概ね順調

	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	平成27年度に本格スタートする「子ども・子育て支援新制度」では、すべての子どもが質の高い学校教育・保育を受けることができるよう、市町村が実施主体となり取組むことが明記された。本市では、国の基準を上回る保育所職員の配置や保育士・幼稚園教諭等の研修機会の充実及び幼保小連携の取組を積極的に推進している。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	各幼稚園、保育所においては、建学の精神及び独自の教育内容等により、幼児教育を提供している。幼保小連携の取組についても計画的に進めている。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	概ね目標に達している。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	質の高い幼児期の教育の提供及び義務教育への円滑な連携の推進	平成27年度に本格スタートする「子ども・子育て支援新制度」により、幼稚園及び認定こども園を取り巻く環境が大きく変化することから、各施設と緊密に連携することにより、質の高い幼児教育を推進する。
2		

施策展開の方向性（H26年度以降）	保育所、認定こども園については、原則新制度へ移行するが、幼稚園については移行するかしないかは、施設・事業者の選択となる。施設型給付、私学助成のいずれの給付であっても、すべての子どもが質の高い幼児期の教育を受けることができるように、支援の充実を図っていく。

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	私立幼稚園就園奨励費補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 保育課	保護者の経済的な負担の軽減を図ることにより、幼稚園への就園を促進し、もって幼児教育を受ける機会を確保する。	補助金を必要とする保護者に対して、適正な補助金の交付をすることができた。
2	幼稚園預かり保育促進事業補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 保育課	通常の教育時間を超えて預かり保育を行う幼稚園に対して、補助金を交付することにより、幼稚園において預かり保育を希望する保護者のニーズに応える。	補助金を交付することにより、適正に預かり保育を実施できている。
3	私立幼稚園補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 保育課	私立幼稚園連盟主催による幼稚園教諭を対象とした研修及び視察並びに幼児教育向上のための研究、広報活動に対して補助金を交付することにより、質の高い幼児教育の向上に寄与する。	幼児教育の質の改善につながる研修や広報活動が行われている。
4			

番号	事務事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
1	B	A	A	A	A	継続	298,951	301,511	318,672	442,071
2	B	A	A	A	A	継続	11,634	11,539	11,825	11,732
3	B	A	A	A	A	継続	2,274	2,279	2,265	2,272
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26